



クラス通信

木田幼稚園

ぺんぎん組 令和2年3月号

春の日差しも心地よくなり、日々暖かさが増してきました。先日、ぺんぎん組の皆でビオトープへ春の訪れを探しに行きました。お子さん達は「先生、土筆があったよ！」「これはつぼみかな？何のお花が咲くのかな。」と、それぞれが小さな春の訪れを見つけ、喜んでいました。

いよいよ、ぺんぎん組で過ごすのも残り僅かとなりました。「もうすぐほし組さんになるからね」「頑張らなくちゃ」など、ほし組になる事を楽しみにしているお子さんの姿を見て、嬉しく思います。お子さん一人ひとりとたくさん関わり、最後まで楽しい思い出をつくれます。

☆お別れ会

3月4日(水)は、お別れ会がありました。お世話になった先生、バスの運転手さん達をお招きし、歌を歌ったり教師の「魔法のランプ」の劇を見て楽しく過ごしました。そして、在園児からは皆で素敵な飾りつけをした写真立てをプレゼントしました。「この飾りかわいい、ありがとう。」という年長さんの声に、お子さん達の嬉しい笑顔が見られました。同時に、「ほし組さんと遊べるのあと何日かな」とお別れを悲しむお子さんもいました。



☆第79回全国教育美術展表彰式

3月13日(金)に全国教育美術展表彰式を行いました。幼稚園は、愛知県で最優秀賞「各都道府県・指定都市教育委員会賞(地区学校賞)」を頂きました。個人賞は、年長・年中・年少合わせて特選2名、入選10名、の合計12名、ぺんぎん組からは特選1名入選4名の受賞がありました。年中組の教室で、友達が賞状を受け取る姿を見て「僕も賞をもらおうぞ」と次年度の絵画製作への意欲を高めるお子さん達でした。



☆1年を振り返って

早いものでぺんぎん組になり、もう一年が過ぎようとしています。進級当初は、慣れない環境で不安な表情のお子さん達もいましたが、今では「今日、僕お当番だ！」「先生、お手伝いする！」など自分のお当番やお手伝いに意欲的に取り組み、責任を持ち行動できるようになりました。また、困っている小さい組のお子さんがあると、優しく声を掛けられるようにもなりました。そして自分の中で、正しい事、間違っていることの判断もでき、友達にも教えられるようになりました。年長組では、さらに活躍できる事を願っています。ぺんぎん組のお子さんとは、一緒にたくさん思い出を作ることが出来、心より感謝申し上げます。

1年間ご協力頂きました保護者の皆様、本当にありがとうございました。



クラス通信

木田幼稚園
りす組 令和2年3月号

朝晩の暖かな日差しに春の訪れを感じるようになりました。りす組のクサガメもこの暖かさを感じてか、日中よく顔を出しお子さんたちは「今日はカメさんたくさん動いてるね」「日向ぼっこしてるのかな？」などと生き物の観察を楽しんでいます。また、新しい生き物「リクガメ」「ゴーストザリガニ」が新しく仲間入りをしました。初めてゴーストザリガニを見たお子さん達からは「お化けみたいに透明だね」「ハサミのところが少し赤色になってる」などと新しい生き物に興味を持ちよく観察をしていました。

☆ひなまつり集会

3月2日(月)にこころホールでひなまつり集会を行いました。理事長先生からひなまつりは女の子が元気に過ごせるよう願いを込めて行う行事であるというお話のほか、シュタイフのひな人形と博多人形についてのお話がありました。お子さん達からは「くまさんの人形かわいいね」「頭の上に亀と鶴がそれぞれいるよ」などといった声が聞かれました。また、りす組にも三人官女を飾りひな祭りをお祝いしました。



☆お別れ会

3月4日(水)にお別れ会がありました。お世話になった講師の先生方、バスの運転手さんと補助員さん、坂本さんと服部さんをお招きし今までお世話になったお礼を込めて年長組から「さよなら僕たちの幼稚園」の歌のプレゼントと色紙をプレゼントしました。また、きりん・りす・ペンぎん組からは今までお世話してくれた年長組さんにむけて皆で協力して飾り付けをした写真立てをプレゼントしました。

また、会の中では教師の「アラジンと魔法のランプ」の劇を見て楽しく過ごしました。



☆第 79 回全国教育美術展表彰式

3月13日（金）に全国教育美術展表彰式を行いました。今年は、ほし組6名 ペんぎん組5名 りす組1名 合計12名のお子さんたちが入賞しました。りす組でも入選が1名ありお子さん達からは「来年賞状がもらえるようにがんばる！」「来年は島先生の絵画指導があるね」と友達の表彰を受け来年度の絵画・造形・製作に意欲を高めるお子さん達でした。



☆1 年を振り返って

早いものでりす組に進級・入園してから一年が過ぎようとしています。入園・進級して間もない頃はお母さんから離れるのが嫌で泣いて登園していたお子さんもいましたが今では全員が元気な声で「おはようございます」と挨拶が出来るようになりました。また、1学期中は一人遊びが多かったお子さん達も今では友達と声を掛け合い力を合わせて、みんなでブロックをどれだけ高く積み上げられるか挑戦したり、鬼ごっこなどの集団遊びも楽しめるようになりうれしく思います。衣服の着脱や排泄も教師が援助していましたが、今では自分たちでどれだけ早く着替えられるか競えるまでになりました。お友達との関わりでは困っているお友達に手助けしたり、間違っただけ行動を見つけたときには「だめだよ」と教えてあげる様子を見て成長を感じます。

私自身もお子さん達からたくさんの事を学ばせていただきました。担任として至らない点が多々あったと思いますが、保護者の皆様には一年間ご理解ご協力ありがとうございました。年中組さんになったら年下のお友達に優しく出来るお兄さん・お姉さんになってくださいね。



クラス通信

木田幼稚園

きりん組 令和2年3月号

コロナウイルスの感染症で世界中で大混乱が起こっていますが、幼稚園のお部屋には暖かい日差しが広がり、お友達と楽しく遊ぶお子さん達の笑顔は陽だまりの様です。

きりん組の入園から1年、明るい笑顔とにぎやかな会話、自信に満ちた行動力を身につけ、いよいよ進級の春を迎えます。「〇〇組になるんだよね」「お姉さんになるから小さいお友達に大丈夫って言ってあげる」とひとつ大きくなる喜びに胸をふくらませています。

☆お別れ会

3月4日(水)に「お別れ会」を行い、優しくお世話して下さいましたり楽しく遊んで下さった年長組さんに、年中、年少、きりん組より感謝の気持ちを込めてプレゼントを渡したり、講師の先生方、バス運転手さんや補助員さん、園内や畑の清掃や管理をして下さっている服部さんや坂本さんをお招きし「歌唱」や教師の「劇」を楽しみ、笑顔で過ごしました。1年の終わりの特別な行事や交流はお子さん達にとっても大切な学びの場となりました。



☆1年を振り返って

入園当初は小さな小さなお子さん達で、ご家庭から離れた初めての社会生活に親子共々大きな不安を持たれたスタートだった事と思います。身の回りの整理整頓、排泄、食事、衣服の着脱…まだまだ一人では出来ずに一つ一つを教師と一緒に行ってきました。年齢的にも甘えたり、涙したり、ぐずったり…「抱っこ」や「おんぶ」で過ごした毎日。そんな日々をゆっくり歩んで少しずつ「一人で出来たよ」「パンツはけたの」と自分で行う楽しさや出来た時の喜び、満足感を感じられるようになりました。

本園の幅広い「体験型教育」の中で様々な事に興味、関心を高めながら、お子さん達それぞれが「好きな事」を見つける事ができました。お友達と一緒に過ごす楽しさを知り、自分の思い通りにならない悔しさや我慢も覚え、心も一年前とは見違える程になりました。今後も様々な体験を通して、ますます逞しく成長してほしいと願っています。

お子さん達と出逢った日から一年間、どんな場面を思い出しても、お子さん達の純真無垢な心や笑顔に触れる事で教師側も励まされ数えきれない程の喜びを感じながら、お子さん達や保護者の皆様と一緒に沢山の思い出を紡ぐ事が出来ました事に感謝でいっぱいです。

一年間ご協力頂き、本当にありがとうございました。

